

意思決定支援 (ACP) を学ぶ

第4回 「なぜ本人の意思を尊重することが大事なのか」

中京大学教授 稲葉一人

表記のような問いは、正面から問われるとどう答えますか。私は、わが国で意思決定支援が不十分なのは、この問いへのそれぞれの考えがしっかりしていないからだと思います。法的・倫理的にまず位置付けましょう。法的には、自己決定権というものであって、憲法13条「すべて国民は個人として尊重される。生命、自由及び幸福追求に対する国民の権利については、公共の福祉に反しない限り、立法その他の国政の上で、最大の尊重を必要とする」から自己決定権は憲法上の権利とされ、自己決定には、当然自分の医療を決めるにあたり患者本人の意思を尊重すべきなのです。倫理的には、自律ということがいわれます。ベルモント・レポート(1979年)を引用しましょう。「人格の尊重は、少なくとも2つの倫理的な確信を含んでいる。すなわち、第1に、個人は自律的な主体者として扱われるべきであるということ、第2に、自律性が減弱した人々は保護される権利があるということである。したがって、人格の尊重の原則は2つの道徳的要件に分かれる。すなわち、自律性を認めることと、自律性が減弱した人々を保護することである。自律的な人間とは、自分の目的について深く考えることができ、そのような熟考にしたがって行動できる人のことである。自律性を尊重するということは、自律的な人間が熟慮した上で至った見解や選択を重んじ、明らかに他者を害する場合以外はその人の行動を妨げないということである。」

皆さんは、上記の法的・倫理的説明が「腑に落ちましたか」。否だと思います。したがって、わが国で意思決定支援が難しいのは、このような法的・倫理的基礎づけを共有していないことだと思います。では、あきらめるのでしょうか。そこで、次のような臨床からの声を大事にしましょう。かつて、この問いについて、OCNS・がん看護専門看護師の研修で問いを出し、参加者からお返事をいただいた内容の一部を紹介します。

- ◆患者本人がその人らしく生きぬくため。
- ◆患者本人の人生であり、患者自身の身体に起こる出来事（治療を受けるのも患者、副作用や合併症のリスクを受けるのも患者、という意味）だからである。
- ◆価値観の違い。患者一人ひとりで考え方が違うので、意思決定を自らすることで本人のQOL向上につながると思う。
- ◆患者本人の自律尊重。医師主導ではなく、患者主導の医療のため。かといって、すべてを意思決定してもらうことが目的ではなく、対話をとおして共に考えていくプロセスを大切にするため。患者本人の自己決定権を尊重するため。正確な情報や正しい理解のもとで自己決定することができるため。患者本人と周囲の方達が後悔のないように納得した選択ができるようにするため。
- ◆色々な方法や選択肢があることを医療者は情報提供する義務がある。病気になったり、窮地に立たされているのは、患者本人であり、その人の人生なので、人権尊重の意味が必要である。
- ◆意思は、その人がその人たるものである。ADLが低下しても、その人が大切にしているもの一価値観、意見一を尊重することがQOLを高めることにつながる。事前に患者本人、家族、チームで患者本人の意見確認をしても、家族はこれでよかったのかと（後悔を含めて）考えてしまうケースも少なくない。その意味でも、患者本人の意見を家族が知っておくことは、とても重要である。
- ◆自分自身の命、人生なので、生きることが患者自身に与えられた権利だと考える。患者本人の意思を尊重することが大切だと思う。病気と向き合う人自身で、人生のあり方を決められるようにすることで、辛く苦しい中でも、充実したり、満足したりすることができる瞬間があるように思う。患者本人の意思を尊重することが、本人にとっても、また、患者亡き後の家族にとっても、人生に対して前向きになることにつながると思う。
- ◆患者本人が意思決定をすることで、たとえ結果が悪くても、それを受け入れることができやすいと思う。結果に納得することができる。また、それまでの経過を医療者も肯定的に支持することができる。
- ◆とても難しい質問だと思いました。けれども、患者本人の意思だけではなく、看護師は、患者本人を「人」として敬意を払い、尊重しているので、その中に「意思」が含まれているのだと思う。ですので、「なぜ？」と尋ねられると、人を尊重しているからだと思う。
- ◆患者本人の人生であり、他者が患者本人と同様に考え、決められるとは限らないから。また、患者本人の意思であれば、その決定後に迷うことがあったとしても、患者本人が決めたことだと思えば、それを貫くことが可能ではないかと考える。
- ◆患者本人が考えて、家族との関係性を含めて最良の選択肢に折り合いをつけていくことで、ひとりの人間としての価値、生きていく（た）ことの意味を考え、気付くこと。
- ◆これまでの日々の臨床の場において、意思決定支援はとても身近なもので、「看護とは何か」ということを考えることと同じなのではないか、と思うようになった。「なぜ意思決定支援が必要なのか」と問われると、「それが看護だから」だと思う。そして、QOL向上というよりも、「その人らしく」「患者本人が納得した治療過程を過ごすことができたか」ということを大切にしたいと思っている。

この中にあなた方を揺るがせる言葉は見つかったでしょうか。自分が主語なら私の意思は尊重して欲しいのに、主語を患者とすると、意思は尊重できなかったとすると、私たちはまだ、患者の人格を、尊厳を守っていないのであり、患者中心の医療ではないといえるでしょう。